

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	恵庭市子ども発達支援センター（児童発達支援）	公表日	7年 3月 28日
------	------------------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0	職員が不在の時は、別の職員で対応したり、支援日を振り替えて実施することがあります。	ガイドラインに基づいた適切な配置になっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	9	しばらく、第三者評価を実施していません。	外部評価は実施していませんので、今後に向けて検討していきたいと考えます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	年に数回内部・外部研修に参加しています。オンラインでの研修が増えたので、受講しやすくなったと思います。	事業所として質の高い支援を提供するために、職員の研鑽は必要と思います。オンライン研修などを有効に活用してスキル向上に役立てていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	支援プログラムは市のホームページに掲載し、保護者にも配布しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0	定期的に発達評価を実施し、日々の様子と合わせて総合的な視点でアセスメントしています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	定期的にミーティングを実施して、プログラムを立てています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	支援の前には必ず打ち合わせをして、活動内容や配慮事項、連絡事項を職員間で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	1	児童発達支援管理責任者と担当職員で参加するようにしています。	関係機関との連携は必要ですので、機会があれば、積極的に参加したいと考えています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	関係機関とケース会議を開催したり、期間訪問をして情報共有・共通認識を図るようにしています。センターの支援を見学にいらっしゃる機関もあります。	センター以外のお子さんの様子を知ることは、支援を行う際に必要であると考えます。引き続き関係機関と相互理解を図っていきたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	年度末には、就学先の小学校と新入学児童全員の引継ぎ（連携会議）を実施しています。	ライフステージがかわるので、利用児童とその家族が安心して小学校生活を送ることができるよう、毎年実施していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	5		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	3	感染症が流行したこともありましたが、日程を再度調整して予定通りの回数の交流ができました。	未就園児童を対象に、市内の保育園と毎年交流をおこなっています。今年度は三回実施しました。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	親子同室で支援をしていますので、状況を伝える環境にあります。保護者の方が話しやすい関係を築けるよう心がけています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	1	家族支援プログラムはおこなっていませんが、学習会の参加を促したり、発達講演会などの案内をしてお誘いしています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	1	・保護者会では、学習会や茶話会などの行事を企画・開催しています。 ・保護者同士の交流の機会がありますが、きょうだい同士の交流はないです。	たくさんの方に参加していただきたいと思っていますので、周知時期などを検討する必要があります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人情報の取り扱いについては、職場内でも徹底しており、厳重に扱っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	5	戸外活動の際、公園でか挨拶をする機会がありますが、行事などの企画はしていませんでした。	地域住民とのつながりは大切だと思います。今後検討する必要があります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	毎年、現況調査をおこない把握できるようにしています。対象となる家庭とは個別に聞き取りをして職員間で共有するようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	2	年1回、保護者にアレルギー調査票を記入・提出してもらっています。おやつなど提供の際は、アレルギー対象者に個別で確認するなど、徹底しています。	食事の提供がないので、指示書の提出はおこなっていません。アレルギー調査票は引き続き実施していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	1		

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0		